

お知らせ

講演会のご案内

研究対象地域で行われる講演会のご案内です。今回は、新潟市のみのご案内となりますが、他の地域の講演会についても、今後のご案内していきます。

研究対象者ミニ講演会

日時：平成 30 年 3 月 3 日(土) 午前 10 時～11 時半

会場：新潟市総合保健医療センター2F 講堂（新潟市中央区紫竹山 3 丁目 3 番 11 号）

内容：ピロリ菌の話（新潟県健康管理協会 加藤俊幸先生）

参加：申し込みは不要、直接お越しください

第 57 回日本消化器がん検診学会 市民講座

日時：平成 30 年 6 月 9 日(土) 午後 3 時～5 時半

会場：新潟県民会館 小ホール（新潟市中央区）

内容：未定

参加：第 57 回日本消化器がん検診学会ホームページで確認してください。

HP: <http://admedic.jp/jsdcs57/>

新潟市民講演会（予定）

日時：平成 30 年 10 月 14 日(土) 午後 1 時 30 分～午後 4 時

会場：新潟市民プラザ（新潟市中央区）

内容：乳がん検診と大腸がん検診についてと、フリーアナウンサーの伊勢みずほさんから、乳がん患者としての経験について、お話をうかがいます。

参加：平成 30 年 9 月頃市報にいがたでお知らせします

ホームページ開設

研究班のホームページを開設しました。ホームページでは、研究の説明の DVD や研究案内のリーフレットを見ることができます。ご意見・ご質問がありましたらお寄せください。

また、「アイリス・レター」のバックナンバーも PDF ファイルで公開予定です。

研究や検診についてのご意見・お問い合わせはメール(未定)でも受け付けています。

個別リスク研究ホームページ
<http://www.j-sasg.jp/>



キャラクター「アイリスちゃん」紹介

「アイリス (Iris)」は、本研究の課題名にある「個別リスク」の英語 “Individual Risk” に由来します。アイリス（あやめ）の花言葉は「よい便り」「メッセージ」です。「アイリスちゃん」は、研究協力をお願いしている方々に、健康に役立つ情報をお届けします。



見出し

* ご挨拶	1
* 研究の目的	...2-3
* お知らせ	4



ご挨拶

この度は、「リスクに応じた胃がん検診研究事業」にご参加いただきまして、ありがとうございます。

皆さまもご存じのとおり、2016 年から胃内視鏡検診が全国で行えるようになりました。胃内視鏡検診は精度も高く、その成果が大いに期待されるところです。私たちは、この胃内視鏡検診をより多くの方々に受けて頂くためのシステムを作るための研究に取り組んでいます。

皆さまのご協力を頂きまして、平成 29 年度は全国 4 市において研究を開始しました。今後も、順次、協力地域を拡大していく予定です。

今後、10 年間にわたり、皆様には研究のご協力いただきますが、引き続き、どうぞよろしくお願いします。

発行日 2018 年 2 月 15 日

発行元 胃内視鏡検診
研究事務局

URL <http://www.j-sasg.jp/>



本研究は、日本医療研究開発機構研究費による「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」(課題番号:16817317) 研究班（研究代表者 深尾彰）の一部として行っています。

研究の目的

胃内視鏡検診は優れた検診ですが、残念ながら内視鏡検診は検査の合併症が多いというリスクがあります。リスクを最小化する努力は各地で行われていますが、余計な検査を減らし、最小限の必要な回数だけにすることも必要です。一方、地域によっては、医療機関が少なく、なかなか胃内視鏡検診を導入しにくい地域もあります。そうした地域に検診を拡大していくために、胃内視鏡検診の適切な検査回数を決める必要があります。

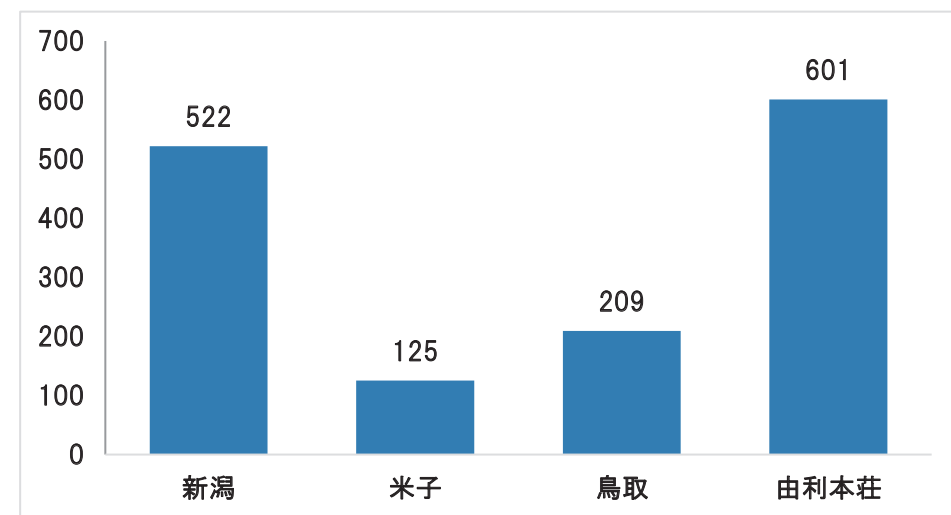
最近では、胃がんの主たる原因がピロリ菌であることがわかってきました。ピロリ感染に加え、胃の粘膜が萎縮したり、胃炎を起こすことが胃がんのリスクを高めます。血液検査や内視鏡検査の結果から、個人のリスクを分けることができます。それぞれのリスクをはっきりさせ、リスクの低い人には検診の回数を減らそうというのが研究の目的です。

平成 29 年度の進捗状況

平成 29 年 4 月から、秋田県由利本荘市、新潟県新潟市、鳥取県鳥取市・米子市で研究参加者のリクルートを開始しました。平成 30 年 1 月までに 1305 人の方々にご参加いただきました。由利本荘市、新潟市の研究参加者は 500 人を超えています(図)。

次年度はこれらの 4 市に加え、石川県金沢市の参加が決定しています。また、2 市が検討中です。次年度は、さらに多くの方々にご参加いただけるよう、努力していきます。

平成 29 年度研究参加者数



平成 29 年度に研究に参加して頂いた方々には、平成 31 年度に胃内視鏡検診にご参加いただくようご案内します。

次回のご案内の送付は平成 31 年 2～6 月を予定しています。

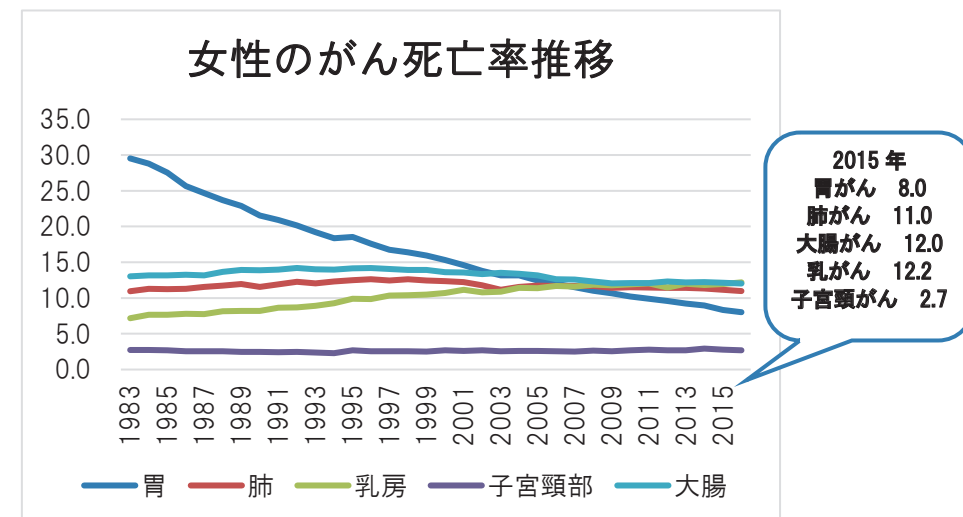
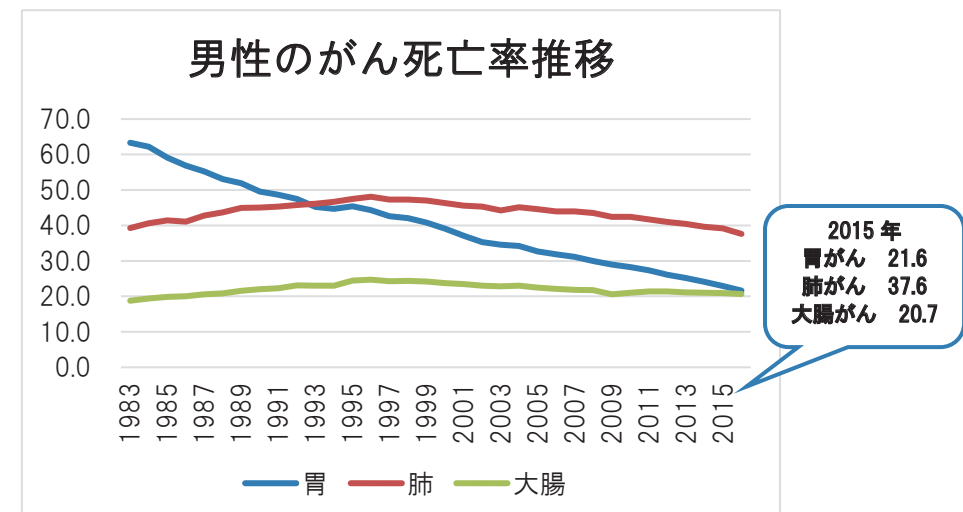


胃がんの統計

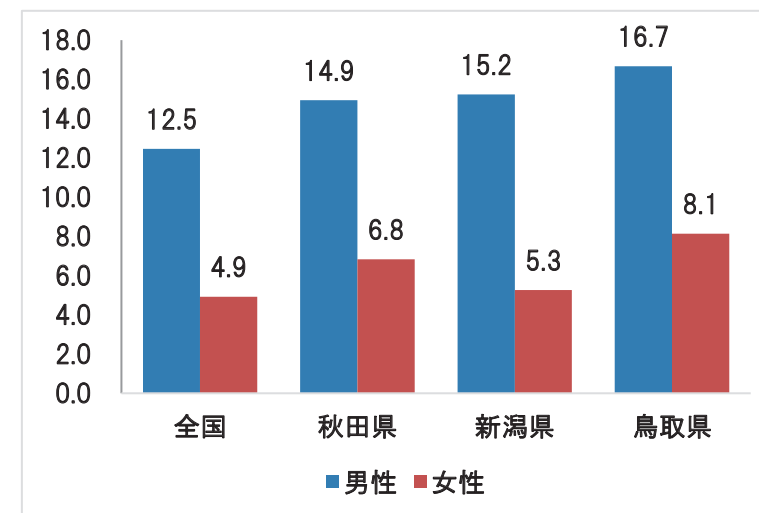
病気による死亡率は、10 万人のうち何人その病気で亡くなるかという数値で表します。また、異なる地域や年では、もともと人口構成が異なることから、高齢者の多い地域では死亡率が高く出てしまう可能性があります。この偏りを除く方法として、年齢調整死亡率という方法が用いられます。これからお示しする統計は、10 万人のうち何人がんで亡くなるかを示した年齢調整死亡率を示しています。

かつて、胃がんによる死亡はがん死亡のトップを占めていました。しかし、胃がんの死亡率（/10 万）はこの 20 年間で劇的に減っています。しかし、それでもなお胃がんによる死亡は、がん死亡のなかで、男性の第 2 位、女性の第 3 位を占めています。

研究対象地域となった秋田県、新潟県、鳥取県は、胃がんの多い地域として知られています。このため、これまでも胃 X 線検診にも積極的に取り組んできています。75 歳までの死亡率（/10 万）を全国と比べたのが図です。3 県では男女ともに全国に死亡率を上回っています。なかでも、鳥取県は男女とも死亡率が最も高くなっています。



胃がん死亡率の比較



データ出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」. Available from: http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/index.html